



支 希 美 山 田 西 原 学 園 淵 劍
支 援 員 山 田 美 希 さん

はまなす学園の避難所として利用している高台にある元ホテルに到着した日から、利用者の居室で宿直に入ることになりました。どんなふうに皆さんと接すれば良いのか不安でしたが、利用者や職員が明るい笑顔で優しい言葉を掛けてくれたので少し安心しました。

震災時、はまなす学園の利用者や職員は無事避難できましたが、隣にあったはまなす学園と同じ法人の高齢者施設では、利用者、職員全員が流され、亡くなられたそうです。車いすの方や足が不自由な方が多く屋外へ避難することは難しかったそうで、建物の2階へ避難したようですが津波の高さにはかなわなかったそうです。建物の2階から、津波を見る気持ちほどのようなものだったのか…。流されると思ったとき何を考えたのか…。考えても、考えても答えは出ず、亡くなられた方のご冥福を祈り、手を合わせました。

避難所を少し下るとすぐある信号機は電気が通っていないため、警察官による手信号が行われていました。町はがれきの山でここに何があったか想像もつかないほどです。町を歩く人もいますが、がれきの中から自分の私物を探しているであろう人、がれきの山に手を合わせる人を見ると本当に心が痛みました。

はまなす学園の利用者で、震災から毎日ポエムを書いている方がいます。震災当時の状況、震災後の山田町の町並み、家族に向けたもの、自衛隊について、震災後に自分の周りで起きたことなど様々なポエムが書かれたノートは4冊にも及んでいました。



▲彼女のポエムには人
に与える何かがある
と感じたそうです

彼女のポエムには「希望」「光」「未来」「明日」という言葉が多く並び、震災で亡くした命を無駄にせず、この苦しみを忘れないで、震災に負けず希望ある未来へ、光

る明日へ山田町の皆で歩いて行くという彼女の思いがひしひしと伝わるものでした。このポエムは本人の気持ちを素直に書いたものですが、きつと被災された方に勇気を与えられるのではないかと感じ、これからも感じたこと、思ったことをまだまだ描き続けてほしいと伝えました。

職員の方は震災で家を無くしたり、家族を亡くしたりと悲しいことがたくさんあるはずなのに、とても明るく、私たち派遣職員の食事や睡眠を心配したり、何かと優しく声をかけてくれました。そして、何度も、「復興したらまた山田町に遊びに来てね!」「山田町はいいところなんだよ」と言ってくれました。町を見ると、まだまだがれきの山。しかし、その言葉を聞くとゆっくりかもしれないませんが、山田町は復興に向け一歩ずつ進んでいるのだと感じました。

これから夏を迎えるにあたり、衛生面の保持がとても重要になってくると思います。電気は通っているものの、冷蔵庫はなく支援物資の食物も常温での保存となっているため、今後暑くなると食中毒の発生も懸念されます。また、ト

イレの掃除、消毒もより重点的に行うことが必要で、現地の職員が利用者の介助を行いながらこまめに掃除等を行うのは難しいため、その点では今後もしばらくは派遣職員が必要だと感じました。



▲冷蔵庫がなく、常温で保存されている食物

今回、派遣職員として被災地に行き、活動できたことは私の人生にとって、とても大きな糧になると思います。本当に震災の恐ろしさを感じ、今後、土地柄で津波はなれないにせよ、様々な震災に対する意識をしっかりと持ちたいと思いました。また、現地の職員、利用者として日々精進したいという気持ちが高まりました。そして、当たり前にある日常の大切さにも気づくことができ、これからも1日1日をしっかりと有意義に過ごして生きたいと考えています。

義援金を受け付けています

剣淵町では3月14日から9月30日までの間、義援金の受付を行っています。皆様からたくさんのお義援金が寄せられています。心から感謝申し上げます。

▼日本赤十字社北海道支部

剣淵町役場住民課（日赤剣淵分區）へ直接、義援金をお持ちください。受領書を発行いたします。免税領収書が必要な場合は、窓口で申し出いただくと、後日、日本赤十字社から発行されます。

▼北海道共同募金会

剣淵町社会福祉協議会（共同募金会）へ直接、義援金をお持ちください。受領書を発行いたします。

剣淵町で受付した義援金額

- 日本赤十字社北海道支部（住民課）
2,500,066円（5月20日現在）
- 北海道共同募金会（社会福祉協議会）
1,628,842円（5月20日現在）

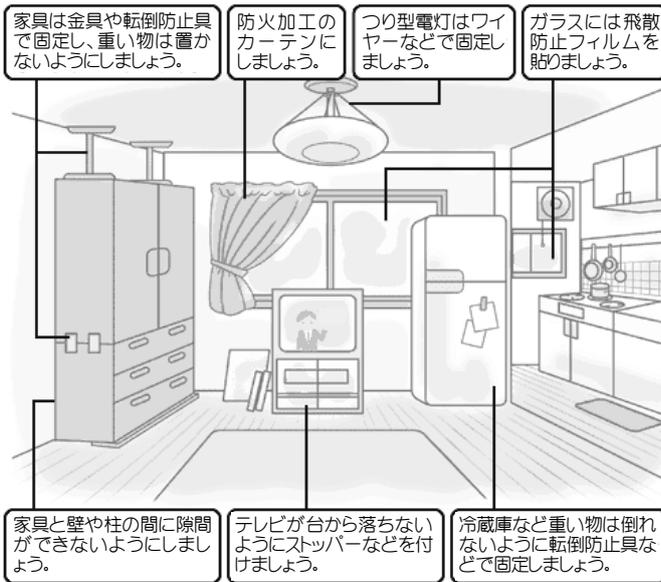
義援金受付期間
平成23年9月30日まで

**私たちにもできる
災害への備え**

地震や洪水などの天災は、いつ起こるかわかりません。災害時に素早い対処がとれるよう、普段から準備をしておきましょう。

日頃から災害に備える

- ・地震発生時に家具などの転倒を防止するため、出入り口付近に転倒、落下の危険性のあるものは置かないようにしましょう。また、固定できる家具は固定するなどしましょう。
- ・家族や地域の人と地域の危険箇所を把握しておき、避難所への避難経路を決めておきましょう。
- ・災害発生時に仕事などで自宅から離れている場合も想定されます。万が一、家族が離ればなれになったときの連



▲非常用持ち出し袋の重さは15kgが目安と言われていますが、自分の必要な範囲で準備しましょう。

- ・絡方法を決めておきましょう。
- ・非常持ち出し袋を用意しておきましょう。
- ・応急手当の方法を知っておきましょう。

種類	非常用持ち出し袋の中身
飲料水・非常食糧	水は大人で1日2～3ℓ必要です。食料は少なくとも2～3日分用意しましょう。
衣類	下着・防災頭巾・防寒衣・雨具・靴（底の厚いもの）
道具類	タオル・毛布・携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池・マッチ・ローソク・ロープ・ナイフ・軍手・缶切・大きなビニールシート・ビニール袋など
貴重品・救急用品	通帳・印鑑・三角巾・包帯・ガーゼ・消毒薬・胃腸薬・常備薬など
その他	赤ちゃん用ミルク・哺乳びん・おむつ・ティッシュペーパー・生理用品など